

埼玉佛教

令和2年4月 第222号

令和2年4月27日 発行
 No.222
 〒330-0063
 さいたま市浦和高砂4-13-18
 一般財団法人 埼玉県佛教会
 電話 (048) 861-2138
 FAX (048) 864-6649
 発行人 倉持 秀裕
<http://saibutu.net>
 印刷所 関東図書株式会社

会員寺院の皆様へ

皆様におかれましては、大変厳しい状況の中、ご法務にお励みなされておることと存じ上げます。世界を襲っている新型コロナウイルスは、我々から日常生活を奪いました。各寺院で対策を講じられ、ご法務を執り行っていることと思います。

国民、世界中の人々が不安や恐怖と闘いながら生活をしている現状を見ますと、我々宗教者が果たす役割が大きいのではないかと感じられます。制約が多い中、出来ることは限られていると思いますが、少しでも安心感を与えられるよう共に精進してまいりましょう。

また、本件に関する差別や中傷も目立ってまいりました。このようなことには毅然とした態度で臨み、心の傷を負わないように諭さなければなりません。最後になりますが、一日でも早く平穏な日常に戻れますことと、皆様のご健康を祈念いたします。

合 掌

令和2年4月吉日

(一財) 埼玉県佛教会

会長 倉持 秀裕

目 次

会員寺院の皆様へ	1
令和2年度事業計画・予算決まる2	2
・各委員会	2
・第2回代議員会議	2
・第3回理事会	2
・第1回臨時評議員会	2
▼令和2年度事業計画	3
▼令和2年度予算	5
・第12回埼玉佛教文化講座	6
・令和2年新年懇親会	7
地区仏教会たより	
▼羽生市・行田市仏教会	8
▼川越市仏教会	9
▼川島仏教会	10
トピックス	
▽埼玉県佛教保育協会	
「第35回埼玉県佛教幼児画展」	11
訃報	12
事務局日誌	12
編集後記	12

令和2年度
事業計画・予算決まる

令和2年度の事業計画・予算が各委員会、代議員会議、理事会、評議員会で審議され、決定された。各委員会は埼玉佛会館において開催された。また、代議員会議、理事会、評議員会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面議決での承認となった。



各委員会

二月一七日に総務委員会（山口正純委員長）、教化委員会（河野亮玄委員長）、二月二二日に、組織委員会（馬場知行委員長）、財務委員会（井倉賢照委員長）



が開催されそれぞれの活動方針が確認された。

第二回代議員会議

書面議決により過半数の承認を得た。

第三回理事会

書面議決により全理事及び監事の承認を得た。

第一回臨時評議員会

書面議決により全評議員の承認を得た。



■埼玉佛会館貸し会議室及び事務局勤務時間

県下に緊急非常事態宣言が出されている現状を鑑み、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会議室の貸し出しを原則中止しております。また、事務局の勤務時間を短縮し、午前10時から午後4時までの勤務時間とさせていただきます。

皆様方にはご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

■埼玉佛会館全面禁煙

改正健康増進法の施行により、令和2年4月1日から埼玉佛会館全面原則禁煙となります。

❖❖❖ 一般財団法人埼玉県佛教会 令和2年度事業計画 ❖❖❖

基本方針

埼玉県内寺院教会の緊密な連携のもと、県下佛教活動の推進、発展に努め、もって道心の高揚と教化の促進を図り、社会の浄化と佛教文化の向上に寄与するため、次の諸事業を行う。

事業計画

○総務

- 1 第42回埼玉県佛教徒大会の開催（主管 越生・毛呂山仏教会・西部地区）
期日：令和2年10月22日（木）
会場：ウィズもろやま
- 2 人権教育並びに「埼玉同宗連」との連携
 - ①「埼玉同宗連」主催研修会・現地学習会への参加
 - ②部落解放同盟埼玉県連合会主催「人権フォーラム」への参加
期日：令和2年10月28日（水） 会場：上尾市文化センター
 - ③人権教育・啓発推進埼玉県実行委員会への協力（会長に倉持秀裕当会会長が就任）
- 3 佛教徒募金、歳末助け合い運動の実施
 - ①佛教徒募金（善意銀行・歳末助け合い運動寄付）
 - ②共同募金会へ歳末助け合い運動寄付（佛教徒募金より）

○財務

- 1 会費納入と未納整理
会費納入未納地区・会員への呼びかけ
- 2 埼玉会館の管理運営
 - ①貸店舗（2社）・貸事務所（2団体、2社）・駐車場（月極、時間貸）の管理運営
 - ②会議室（埼玉県庁、埼玉弁護士会ほか）の管理運営ならびに利用促進

○教化

- 1 第72回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会の開催
期日：令和2年9月7日（月）
会場：埼玉会館「大ホール」
- 2 第13回埼玉佛仏教文化講座の開催
檀信徒並びに一般に向けた仏教文化等に関する講座の開催

3 更生保護事業の推進・助成（清心寮）

- ①更生保護法人「清心寮」へ助成（80万円）
- ②法務省「社会を明るくする運動（犯罪防止・更生保護啓発活動、7月強化月間）」への協力

4 宗教法人研修会への参加推進

宗教法人研修会（埼玉県総務部学事課・埼玉県宗教連盟共催）への協力、参加推進
・研修会会場（さいたま会場）として埼佛会館を提供

5 機関紙『埼玉佛教』発行等の広報活動

- ①機関紙『埼玉佛教』年4回発行
- ②ホームページの運営（<http://www.saibutu.net>）

○組 織

1 休眠地区対策

休眠地区の再建、組織化を目指す

2 組織の強化と全一仏教意識の高揚推進

3 県佛青及び県佛保の育成並びに全青協への助成

各団体に助成金

□新社会問題への対応

- ①散骨問題への対応
- ②子どもの貧困問題への対応

□善意銀行

義捐金及び仏教教化事業への助成

- ①義捐金（全日本仏教会へ寄託）
・令和元年度実績：台風19号（30万円）
- ②全日本仏教会 大蔵経テキストデータベース事業への協力

□埼玉県ならびに埼玉県警察本部との連携

埼玉県ならびに埼玉県警察本部との協同活動

『交通安全運動の推進』、『振り込め詐欺防止』、『暴力団排除』等

一般財団法人埼玉県佛教会 令和2年度 予算 (単位:円)

科 目	公益事業	法人会計	収益事業	2年度合計	元年度	増減	備 考
	【公益目的】	【一般会計】	【特別会計】				
収 入	会 費 収 入		13,040,000		13,040,000	13,040,000	0 1ヵ寺8,000円 1630ヵ寺
	佛 教 徒 募 金 収 入		3,040,000		3,040,000	3,040,000	0 目標額1ヵ寺2,000円 1520ヵ寺
	奉 詠 大 会 収 入	1,500,000			1,500,000	1,500,000	0
	利 息 収 入		10,000		10,000	10,000	0 預金利子
	賛 助 金 収 入		1,600,000		1,600,000	1,600,000	0 灯明料・年賀広告・協賛広告・関連団体協賛金
	雑 収 入		60,000		60,000	60,000	0 印刷代・コピー代(会議室利用者)
	貸 事 務 所 収 入			8,500,000	8,500,000	8,500,000	0 更新料含む
	駐 車 場 収 入			4,600,000	4,600,000	4,600,000	0 更新料含む
	施 設 利 用 料 収 入			2,000,000	2,000,000	2,000,000	0 埼玉佛会館会議室利用料
	代 理 店 収 入			100,000	100,000	100,000	0 第一生命・アフラック・東京海上日動
前 期 繰 越		8,000,000		8,000,000	8,000,000	0	
経 常 収 益 合 計	1,500,000	25,750,000	15,200,000	42,450,000	42,450,000	0	
支 出	奉 詠 大 会 費	2,600,000			2,600,000	2,600,000	0
	県 佛 大 会 費	1,200,000			1,200,000	1,200,000	0
	仏 教 文 化 講 座 費	600,000			600,000	600,000	0
	善 意 銀 行		600,000		600,000	600,000	0
	広 報 費	1,500,000			1,500,000	1,500,000	0 「埼玉佛教」4回発行、ホームページ、関連団体広告
	育 成 費	450,000			450,000	450,000	0 埼玉佛青・埼玉佛保・日仏婦
	全日本仏教会寄附金	650,000			650,000	650,000	0
	「埼玉宗連」寄附金	350,000			350,000	350,000	0
	「埼玉同宗連」寄附金	77,000			77,000	77,000	0
	地区教化活動助成金	1,800,000			1,800,000	1,800,000	0 地域行事助成
	埼玉県教誨師会寄附金	100,000			100,000	100,000	0
	更生保護法人「清心寮」寄附金	300,000			300,000	300,000	0
	歳末助け合い運動寄附金	600,000			600,000	600,000	0 共同募金会(「清心寮」へ指定寄附金50万円)
	全国青少年教化協議会寄附金	100,000			100,000	100,000	0
	そ の 他 寄 附 金	55,000			55,000	55,000	0 県交通安全対策協議会、シャンティ国際ボランティア会、さいたま緑のトラスト協会、彩の国コミュニティ協議会
	事 業 費 計	10,382,000	600,000		10,982,000	10,982,000	0
	給 料 ・ 手 当	2,240,000	320,000	3,840,000	6,400,000	8,400,000	△2,000,000 4名分
	顧 問 料	35,000	140,000	525,000	700,000	700,000	0 税理士顧問料・司法書士報酬
	管 理 費	85,000	340,000	1,275,000	1,700,000	1,500,000	200,000 エレベーター管理・塵芥・モップ交換・防犯警備
	賃 金 ・ 報 酬	45,000	5,000	50,000	100,000	100,000	0 アルバイト賃金
	租 税 公 課	260,000	1,040,000	4,500,000	5,800,000	5,800,000	0 固定資産税・贈本・法人税・消費税
	保 険 料	25,000	100,000	375,000	500,000	400,000	100,000 火災保険・傷害保険・あんしん財団
	福 利 厚 生 費	90,000	10,000	100,000	200,000	150,000	50,000 コーヒー・お茶・残業食事・常備薬
旅 費	585,000	39,000	26,000	650,000	650,000	0 職員旅費	
会 議 費	1,080,000	72,000	48,000	1,200,000	1,000,000	200,000 評議員会・理事会・代議員会議・委員会 諸費用	
報 償 費 ・ 旅 費	1,260,000	84,000	56,000	1,400,000	1,400,000	0 役員旅費、全仏島根大会	
光 熱 水 費	770,000	110,000	1,320,000	2,200,000	2,200,000	0 電気・水道	
印 刷 費	270,000	18,000	12,000	300,000	300,000	0 名刺・封筒	
書 籍 費	135,000	9,000	6,000	150,000	150,000	0 新聞雑誌購読料・書籍購入費	
備 品 費	15,000	15,000	270,000	300,000	800,000	△500,000 会館備品	
消 耗 品 費	297,500	42,500	510,000	850,000	650,000	200,000 コピー用紙・文具・カウンター料	
通 信 費	262,500	37,500	450,000	750,000	750,000	0 電話・郵便料・運賃・ジェイコム・葉書	
賃 借 料	767,000	52,000	31,000	850,000	850,000	0 事務機器リース料	
研 修 交 流 費	225,000	15,000	10,000	250,000	200,000	50,000 他団体との交流・研修	
交 際 費	180,000	12,000	8,000	200,000	200,000	0	
中 退 共 掛 金	105,000	15,000	180,000	300,000	460,000	△160,000 職員退職金積立	
慶 弔 費	135,000	9,000	6,000	150,000	150,000	0	
修 理 費	350,000	50,000	600,000	1,000,000	1,000,000	0	
雑 費	45,000	3,000	2,000	50,000	50,000	0 送金料、残高証明他	
管 理 費 計	9,262,000	2,538,000	14,200,000	26,000,000	27,860,000	△1,860,000	
積 立 金		2,000,000		2,000,000	2,000,000	0 修繕積立	
予 備 費		3,468,000		3,468,000	1,608,000	1,860,000	
経 常 費 用 合 計	19,644,000	8,606,000	14,200,000	42,450,000	42,450,000	0	

「第12回埼玉佛教文化講座」

令和2年2月13日（木）14時
30分から埼玉佛会館多目的ホールにて第12回埼玉佛教文化講座を開催した。講師に神奈川県川崎市、福昌寺（天台宗）副住職 飯沼康祐師をお迎えし、「精進



料理を学ぼう〜イタリアンからお粥まで・お寺ご飯〜」と題して講演をいただいた。参加者は50名。飯沼康祐師は、19歳の夏に比叡山延暦寺で、出家得度をされたのち、大正大学在学中に食を通じた布教を志し、大学卒業後に調理師免許を取得されたという経歴をお持ちで、飯沼師の著書「簡単！お寺ご飯」にはこれが本当に精進料理なのかと思ってしまうほど、色鮮やかなお料理の写真が数多く掲載されておられ、なかでもイタリアン精進料理のレシピを見れば、確かに肉や魚介、卵といった食材は一切使用していないということに驚くけれども、飯沼師はそれを見事に、味噌や昆布、しいたけといった食材をつかったイタリアン精進料理として著書の中で紹介していて、とても美味しそうである。講座の中でも



お話に出てきたが、和食に思われがちな精進料理だが、決めつけることのないようにと般若心経にもあるということだ。飯沼師は、各地で精進料理会を開催するなど、精進料理を通じて、仏教を広めたいという志をもつて活動されている。

開会行事では深谷雅良専務理事が主催者挨拶を行った。講座は「知ってそうで知らない

簡単！お寺ご飯



い食文化の問題」ということで、クイズ形式でのお話から始まった。私たち日本人にとって、とても身近なお正月のおせち料理に関する問題から、桃の節句、端午の節句を含め、1年間に5つの節句についてなど、知ってそうで知らなかった食文化を知ることができ、参加者からもたくさんのお声やご名答が出された。そして精進料理についての問題で、肉、魚介、卵といった動物性たんぱく質が禁止されていることはよく知られているが、五葷ごこんといわれる、ネギ、タマネギ、ニラ、ニンニク、ラッキョウといったにおいが強く精がつ



く野菜も禁止ということだ。それはお堂の中のお香の香りの妨げになることと、精がつきすぎで煩惱が生まれやすいから、この2つの理由だそうである。

仏教を開かれたお釈迦様は、いったいどんな食生活だったのか、というお話では、苦行中は半月に一度の食事であったこと、悟りを開いてのち、托鉢による食事を1日に1度、正午までに食べる、といったお話であった。

講座の後半では、いよいよ実際に粥を炊いていただいた。



普通30〜40分かかるとお粥だが、なんと10分で炊けるお粥ということ、参加者の皆様は興味津々であった。お鍋の周りを参加者が囲んで、飯沼師がお粥を炊きはじめ、休憩を挟んで、いざ実食となった。塩昆布と沢庵の添えられたお粥をいただき、10分しか炊いていないなんて思えないくらいに、ふっくらとした炊きあがり、本当に美味し

いお粥だった。食後はほうじ茶と、食わずに残しておいた沢庵で洗鉢である。洗鉢は音を立てずに行うことが修行で、それは目の前のことを丁寧にするということなのである。鐘の音で始まり、会場は静まりかえった。終わりに飯沼師は、私という字には仏がいる、という言葉を覚えて下さり、とても印象に残った。山川草木みな仏、あらゆることは当たり前ではなく有難いということ。と締めくくった。

質疑応答の後、河野亮玄教化委員長の挨拶で、閉会となった。

令和2年新年懇親会

去る、1月14日（火）、ロイヤルパインズホテル浦和に於いて、令和2年新年懇親会が開催



された。参加者は43名。来賓として全日本仏教会から戸松義晴事務総長と掬池友絢国際部長が参加された。

毎年、受章者へ記念品の授与が行われている。今回はご出席いただいた川端清光師（瑞寶雙光章受章）に記念品の授与が行われた。



地区仏教会だより

羽生市・行田市仏教会 合同研修会

羽生市仏教会 行田市仏教会

当支部では、令和元年12月11日、行田支部と合同で研修会を行った。今回も、前回に続き講師に行政書士でファイナンシャル・プランナーでもある勝桂子氏を迎えて、10年後をクリアにする寺院の使命、寺と法とお金、と題する講演会を行った。現在、地方の寺院は危機的な状況にあると言ってもよい。すなわち「檀家減少」は言うに及



ばず、「寺離れ」、「墓じまい」、「直葬」などによって「寺院崩壊」は、現実のものになるうとされている。ところが、こういった問題は、『地方』と『中央』では温度差が激しい。『地方』の寺院住職の声は、『中央』の統轄機関には届きにくい。それ故、極めて重大な問題であるにもかかわらず、こういった問題が中央の会議の議題として取り

上げられることは少ないのだ。こうした問題を切実なことでして認識できる『地方の仏教会』が連合して、その声を大きくしてゆくことが必要である。

しかし、『中央』に頼るだけではなく『地方』の寺院が自ら対策を練らなければならないのは言うまでもない。昨年、イエナキ時代に檀家制度の息吹を取り戻す、くお寺を看取りのステーションに、という勝桂子氏の公演に、そのヒントを見出した羽生・行田支部では、さらに公演をお願いすることにした。さて、江戸時代、地方の寺院は、単に「葬式」を行うだけではなかった。すなわち「仏誕会」や「施餓鬼会」などの折には、演芸や市などが出されて、「娯楽の場」や「マーケット」であ



ったし、「寺子屋」として子供の教育の場であった。さらには日常的にも「悩みごと相談所」であり、「役所機能」も伴っていた。いわば寺院は「地方のセンター」として機能していたのである。しかし、現在の寺院はこうした機能を失い、「葬式仏教だけが残った」と極論できるのかもしれない。



勝氏が提案したのは「本来持つていた寺院の機能を取り戻そう」ということである。ただ、「娯楽の場」や「市」は言うに及ばず、「悩みごとの相談」は「カウンセラー」などに、「寺子屋」は「塾」に、「役所機能」は「行政機関」などの「専門機関」に移行してしまっている。

これらすべて解決できる「超人」的な僧侶は、もはや存在し得ないのだ。それ故、これらの機能を取り戻すことは容易ではないだろう。

勝氏はこれらの専門職と連携することを提案している。檀家や、その近辺にこうした専門職の人がいる場合、こうした人々とコンタクトをとっておき、寺院にすれば、こうした問題に対処できるようにすることは、十分可能であろう。特に勝氏が指摘したのは、親の死後に起こる「相続問題」である。これが「葬式」とともに、寺院で解決できれば、その意義は大きい。また、寺院がこうした問題に対処できる「連絡所」としての機能を持つためには多くの専門職の人々とコネクションを持つことが必

要となるが、そのためにも近隣の寺院同士が宗派を超えて、連絡を取り合いながら対応してゆくことの重要性とともに、将来的には住職も役割分担に「カウンセラー」や「行政書士」といった資格を持つ必要性も感じた。

(羽生支部会長 浅野守信)



成道会法要と仏教講座が開催された。毎年、成道会のこの時期に「心ゆたかな人生をあなたに」をスローガンに仏教をより身近なものに感じていただくためこの講座を開いている。

蓮馨寺様ご本堂を会場にして、冒頭、ご住職糸原恒久上人を導師に12名の式衆により法要が厳修された。続いて記念講演では酒井菜法師(埼玉県三郷市 日蓮宗高応寺住職)が「生老病死に向き合う ～いつくしむころの育て方～」と題して、約90分にわたり法話を下さった。

ストレス社会の現代、「瞑想」に着目された師は、マインドフルネスを通じて多くの方の悩み相談に応じておられる。この日は、仏教をより体験的に学んでいただくため、

成道会法要と仏教講座

川越市佛教会

令和元年12月7日(土) 川越市佛教会主催による恒例行事、



①集中力を身につけ、人と比べる事のない自分を作る
 ②自分の五感に気づく
 ③共感力、思いやりと許す力を付ける
 を三本柱にワークショップを交えながらお話しいただいた。尼僧様ならではの柔らかい口調からひとつひとつの教えが腑に落ちていく様子で参加者一同、終

始聞き入っていた。

最後に、恒例の川越名物「いもっこ体操」を理学療法士の方にご指導いただき、心と共に身体もほぐしてお開きとなる。

(会長 佐々木俊道)



川島仏教徒大会・参拝会

川島仏教会

川島仏教会(金子宗和会長)

では令和元年六月六日(木)町内の円通寺に於いて川島仏教徒大会を、また令和元年十月十六

日(水)に川島仏教会参拝会を開催した。

仏教徒大会には、十四名のご

任職様方、五十八名の各寺院の

檀徒総代等役員の方々に参加を

いただき盛大に実施することが

できた。円通寺住職・副住職を

導師・経頭に各和尚さん方で法

楽を実施し、川島町の安寧と各

寺院の繁栄を祈願した。令和元

年度の役員紹介、事業報告、事

業計画等の説明後に臨済宗長福

寺住職(金子宗和師)による「生

かされている」という演題に講

演をいただいた。いつも自分が

生きていると思つての生活を見

直し、生かされていることに気

が付き、一日をしっかりと生きな

ければ申し訳ないという中で、

周りに感謝しなければという気

になることができた。参加者に

は好評であった。講演会後には懇親会を行い各寺院の役員懇親を深めた。

また十月の参拝会は、日本中

に災害をもたらした台風十九号

の直後にもかかわらず二十一人

もの方の参加をいただき「秩父

霊場」の十ヶ寺を参拝して回っ

た。慈眼院のご住職の作成した

素晴らしい案内冊子も好評であ

った。天候にも恵まれ観音様のご

利益をいただいた有意義な一日

になった。

(報告・川島仏教会事務局)



ト
ピ
ッ
ク
ス

埼玉県佛教保育協会

第35回埼玉県佛教幼児画展

本年度で35回を迎え、令和初の「埼玉県佛教幼児画展」が令



和2年2月1日、2日にさいたま市文化センター展示室で開催されました。主催は埼玉県佛教保育協会（丹羽義昭会長）。参加者は約1200名。12園から合計319枚の作品が展覧されました。

本画展は屋外に設置の立て看板と会場入口に設置の横看板の

制作や絵画の貼り込み（弱粘着の両面テープを使用）、会場設営、当日の運営を参加園の先生が分担して行う自主運営方式の絵画展になっています。出展園児全員に賞状と記念品が授与され、会場で本人に賞状を読み上げて記念品と一緒に手渡しています。表彰時の子どもたちの十人十色の表



情が可愛らしく、運営側の励みになります。作品の前や、手作りの看板の前などで記念撮影をする様子も見られ、会場はなごやかな雰囲気にも包まれました。

来場された方々からは「心が



安まりました」、「しっかりと表現できている事におどろきました」、「自由なタッチが素敵です」などの感想や、「今後も画展を続けてください」などの励ましのお言葉をいただきました。

討報

お悔やみ申し上げます。

事務局日誌

31日▼「埼玉佛保」新年懇親会(浦和・王龍)

3月

10日▼「埼玉佛青」写仏

令和元年 12月

令和2年 1月

2月

12日 久喜市正眼寺(曹洞)

7日▼事務局仕事始め

1日▼「埼玉佛保」第35回埼玉県

4月

島崎 道雄 師(91歳)

9日▼「解放同盟」県連旗びらき

佛教保育幼児画展(〜2

16日▼「人権埼玉」代表者会議

20日 松伏町源光寺(浄土)

(ホテルガーデンパレス熊

日 さいたま市文化セン

(埼玉人権・同和センタ

里見 義弘 師(90歳)

谷/金子事務局長・本間)

ター)

ー/金子事務局長)

元・代議員

10日▼「埼玉佛青」写仏

4日▼「埼玉同宗連」新年懇親

26日 東松山市光福寺(曹洞)

14日▼新年懇親会(浦和・ロイ

会(浦和・ロイヤルパイ

雲井 幸雄 師(69歳)

ナルパインズホテル)

ンズホテル)

28日 川島町慈眼院(豊山)

20日▼「埼玉宗連」新年懇親会(浦

6日▼令和元年度宗教法人研修

今西 道順 師(76歳)

和・ロイヤルパインズホ

会(埼玉会館)

令和2年 2月

10日▼令和元年度宗教法人研修

2日 志木市寶幢寺(智山)

24日▼埼玉佛仏教文化講座打合せ

会(熊谷地方庁舎)

金剛 洋一 師(88歳)

(川崎・福昌寺/永堀・

13日▼第12回埼玉佛仏教文化講座

3月

大塚)

17日▼総務委員会

10日 飯能市心應寺(曹洞)

29日▼「人権埼玉」政府要請行動

教化委員会

長澤 良雄 師(96歳)

(衆議院第一会館/大塚)

21日▼組織委員会

26日 吉見町無量寺(智山)

30日▼「全仏」新年懇親会(金

教化委員会

島本 眞栄 師(71歳)

子事務局長・大塚)

27日▼「埼玉佛青」写仏

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の中で始まった新年度、皆さまいかがお暮らしてでしょうか。

不自由な生活を強いられ不安な毎日ですが、この事態が今以上拡大せず早く収束し、次号では少しでも明るい記事が紹介できるようお願いしています。

